

■日時：12月1日（木） 14：30-17：00

■会場：センチュリールーム（第1会場）

「エイズウイルスの侵入・棲息部位である粘膜組織におけるウイルス制御法を探る」

SS1-1 Introduction : Control of HIV infection and dissemination at the mucosal compartments

(導入：粘膜自然免疫とHIVについて概説する)

高橋 秀実 (第25回日本エイズ学会会長/
日本医科大学微生物学免疫学教室教授)

SS1-2 C-type lectin signaling in HIV-1 infection.

(HIV-1捕捉因子DC-SIGNの発見者が語るHIV制御への新たな展望)

Teunis Geijtenbeek (オランダ・アムステルダム大学教授)

SS1-3 A push-pull approach using IL-15, TLR ligands, and blockade of TGF-beta to improve the quality and quantity of mucosal HIV vaccine-induced T cell responses

(HIV-1ワクチン開発の世界的権威でありHIVの新たな標的であるNKT細胞研究の大家)

Jay A. Berzofsky (米国国立癌研究所ワクチン開発研究部部長)

SS1-4 Spick-and-Span for the Development of MucoRice-nanoantibody for the control of viral and bacterial infection

(我が国を代表する粘膜免疫及びワクチン開発の大家による粘膜免疫賦活法の開発とHIVワクチン)

清野 宏 (東京大学教授)

ECC 賞

座長 高橋 秀実 (第 25 回日本エイズ学会会長
日本医科大学 微生物免疫学教室)

- 日時：12月1日(木) 13:00-13:50 ※ 総会・評議員会において開催
- 会場：センチュリールーム (第1会場)

第 12 回 日本エイズ学会 ECC 山口メモリアルエイズ研究奨励賞

朝光 かおり (名古屋市立大学大学院医学研究科細胞生物学分野)
「HIV 転写調節機構および Tat の分子作用機構に関する研究」

田沼 順子 (国立国際医療研究センターエイズ治療・研究開発センター)
「アジアにおける HIV に関する多施設共同研究の基盤形成に関する活動」

アルトマーク賞

座長 満屋 裕明 (熊本大学大学院生命科学研究部 血液
内科・膠原病内科・感染免疫診療部)

- 日時：12月1日(木) 14:00-14:20
- 会場：センチュリールーム (第1会場)

第 8 回 日本エイズ学会アルトマーク賞

山本 直樹 (国立シンガポール大学医学部微生物学)
「HIV/AIDS の基礎・臨床研究」

2011Annual Report

司会 高橋 秀実 (第25回日本エイズ学会会長
日本医科大学 微生物免疫学教室)

■日時：12月1日(木) 17:05-18:20

■会場：センチュリールーム(第1会場)

「新たなエイズ制圧への道」

基礎：高橋 秀実(日本医科大学微生物学免疫学教室)

臨床：岡 慎一(国立国際医療研究センター エイズ治療・研究開発センター)

社会：市川 誠一(名古屋市立大学看護学部)

これまでのエイズ研究の進歩、および今後の展望について概説する。

ラパトワ

司会 高橋 秀実 (第25回日本エイズ学会会長
日本医科大学 微生物免疫学教室)

■日時：12月2日(金) 13:20-14:50

■会場：桃山(第2会場)

「基礎・臨床・社会における本年度の進歩」

基礎：俣野 哲朗(国立感染症研究所 エイズ研究センター)

臨床：味澤 篤(がん・感染症センター都立駒込病院 感染症科)

社会：池上 千寿子(特定非営利活動法人ふれいす東京)

本年度の成果を指定発言として、基礎、臨床、社会、それぞれの専門家に語っていただく。

学会シンポジウム

学会シンポジウム1

座長

松浦 基夫 (市立堺病院、NPO法人CHARM)
高久 陽介 (NPO法人日本HIV陽性者ネットワーク・ジャンププラス)

■日時：11月30日（水）9：00-11：00

■会場：センチュリールーム（第1会場）

「検査・告知・相談」

SY1-1 239人のHIV陽性者が体験したHIV検査と陽性告知～WEB調査から

井上 洋士（放送大学）

SY1-2 検査と告知-パートナーへの告知

中瀬 克己（岡山市保健所）

SY1-3 検査と告知-相談支援の現場から

生島 嗣（特定非営利活動法人ふれいす東京）

SY1-4 検査時の相談・支援-保健所等におけるHIV検査の現状

大木 幸子（杏林大学）

学会シンポジウム2

司会

長与 由紀子（国立病院機構九州医療センター）
大金 美和（国立国際医療研究センター）

■日時：12月1日（木）14：30-16：00

■会場：桃山（第2会場）

「看護師のためのケースカンファレンス～第2弾 多職種との包括的アセスメントから看護支援を考える～」

SY2-1 精神的な不安定さと家族関係からアドヒアランス支援が困難だったケース

東浦 緑（京都大学医学部附属病院）

SY2-2 食道がんを併発した患者の治療に関する意思決定を支援したケース

宮城 京子（琉球大学医学部附属病院）

コメンテーター

医師：上平 朝子（国立病院機構大阪医療センター）

看護師：渡部 恵子（北海道大学病院）

薬剤師：井門 敬子（愛媛大学医学部附属病院）

カウンセラー：牧野 麻由子（新潟大学）

MSW：伊賀 陽子（兵庫医科大学）

学会シンポジウム

学会シンポジウム3

座長 矢永 由里子 (慶應義塾大学感染制御センター)
三木 浩司 (小倉記念病院精神科)

■日時：12月1日 (木) 15:50-17:10

■会場：飛鳥 (第6会場)

「HIV陽性者のメンタルヘルスへのアプローチ その3
メンタルヘルス問題の『今』を考える：どのように捉え、どうアプローチ
することが可能だろうか～困難事例を中心に～」

SY3-1 困難事例：これまでの取り組みと今後に向けて
高田 知恵子 (秋田大学教育文化学部)

SY3-2 カウンセラーの立場から：現状と課題
井村 弘子 (沖縄国際大学)

SY3-3 看護師の立場から：現状と課題
有馬 美奈 (がん・感染症センター都立駒込病院)

SY3-4 指定討論：精神科医の立場から：問題理解とそのアプローチについて
三木 浩司 (小倉記念病院精神科)

学会シンポジウム4

座長 岡 慎一 (国立国際医療研究センター
エイズ治療・研究開発センター)
満屋 裕明 (熊本大学大学院生命科学研究部 血液
内科・膠原病内科・感染免疫診療部)

■日時：12月2日 (金) 10:15-11:45

■会場：クリスタルルーム (第3会場)

「次世代の新薬の最新情報」

SY4-1 核酸系逆転写酵素阻害薬フェスティナビル
馬場 昌範 (鹿児島大学)

SY4-2 非核酸系逆転写酵素阻害薬：NNRTI
瀧永 博之 (国立国際医療研究センターエイズ治療・研究開発センター)

SY4-3 プロテアーゼ阻害薬：基礎と臨床からの最新情報
満屋 裕明 (熊本大学大学院生命科学研究部血液内科・膠原病内科・
感染免疫診療部)

SY4-4 インテグラーゼ阻害薬 (エルビテグラビル、ドルテグラビル) について
藤原 民雄 (塩野義製薬株式会社)

共催シンポジウム

共催シンポジウム1

座長 岡 慎一

(国立国際医療研究センター
エイズ治療・研究開発センター)

■日時：11月30日(水) 10:10-11:40

■会場：クリスタルルーム(第3会場)

「インテグラーゼ阻害剤の功績と新たなる可能性」

KS1-1 インテグラーゼ阻害剤の有用性と今後の役割～使用経験より～
塚田 訓久 (国立国際医療研究センター エイズ治療・研究開発センター)

KS1-2 インテグラーゼ阻害剤の臨床における耐性発現の実際
杉浦 互 (名古屋医療センター 臨床研究センター 感染免疫研究部)

KS1-3 Current and future role of HIV Integrase Inhibitor in clinical practice
Dr. Andrew Carr (Associate Professor of Medicine, University of New South
Wales, Sydney, Australia)

(共催：MSD 株式会社)

共催シンポジウム2

座長

Annette Haeran Sohn

(TREAT Asia/amfAR-The Foundation for AIDS Research)

Aikichi Iwamoto

(Professor, Division of Infectious Diseases, Advanced
Clinical Research Center, the Institute of Medical Science,
the University of Tokyo)

■日時：11月30日(水) 10:10-11:40

■会場：平安(第4会場)

「The Status of HIV Treatment in Asia National-level experiences with antiretroviral therapy and prevention of mother-to-child transmission (PMTCT)」

KS2-1 China's National Treatment Program: Lessons learned from rapid scale-up
Fujie Zhang, MD (Director, Division of Treatment and Care National Center for AIDS/STD
Control and Prevention Chinese Center for Disease Control and Prevention)

KS2-2 Vietnam national program
Masaya Kato, MD (Medical Officer - HIV/AIDS Care and Treatment World Health
Organization - Vietnam)

KS2-3 Setting a new standard: Shifting to maternal HAART for PMTCT
Rangsima Lolekha, MD (Chief, PMTCT and Pediatrics Section Global AIDS Program Asia
Regional Office Thailand MOPH-U.S. Centers for Disease Control and
Prevention Collaboration Ministry of Public Health)

(共催：鳥居薬品株式会社)

共催シンポジウム

共催シンポジウム3

座長 松下 修三 (熊本大学エイズ学研究センター)
立川 夏夫 (横浜市立市民病院 感染症内科)

■日時：11月30日(水) 14:00-16:00

■会場：センチュリールーム (第1会場)

「最新の情報を明日の臨床に活かす -Year in Review 2011-」

KS3-1 立川 夏夫 (横浜市立市民病院 感染症内科)

KS3-2 瀧永 博之 (国立国際医療研究センターエイズ治療・研究開発センター)

KS3-3 本田 元人 (国立国際医療研究センターエイズ治療・研究開発センター)

KS3-4 松下 修三 (熊本大学エイズ学研究センター)

(共催：鳥居薬品株式会社)

共催シンポジウム4

座長 長谷川 博史 (特定非営利活動法人日本HIV陽性者
ネットワーク・ジャンププラス)
生島 嗣 (特定非営利活動法人ぷれいす東京)

■日時：11月30日(水) 17:25-19:25

■会場：クリスタルルーム (第3会場)

「HIV陽性者によるエイズ対策への参画」

KS4-1 平賀 紀行 (厚生労働省健康局疾病対策課)

KS4-2 高久 陽介 (特定非営利活動法人日本HIV陽性者ネットワーク・ジャンププラス)

KS4-3 大槻 知子 (特定非営利活動法人ぷれいす東京)

KS4-4 柿沼 章子 (社会福祉法人はばたき福祉事業団)

コメンテーター

大平 勝美 (社会福祉法人はばたき福祉事業団)

山本 政弘 (九州医療センター AIDS/HIV 総合治療センター)

(共催：社会福祉法人はばたき福祉事業団／特定非営利活動法人ぷれいす東京／
特定非営利活動法人日本HIV陽性者ネットワーク・ジャンププラス)

■日時：11月30日(水) 17:25-19:25

■会場：平安(第4会場)

「HIV陽性者の包括的生活支援を目指して ～ソーシャルワーカーによるミクロ・メゾ・マクロ実践への挑戦」

KS5-1 地域生活移行事例への取り組み～支援シート活用の可能性と課題～

関矢 早苗 (がん・感染症センター都立駒込病院看護部)

KS5-2 生活支援と連携における課題～ソーシャルワークの専門性を問う

岡本 学 (国立病院機構大阪医療センター)

KS5-3 社会福祉法人施設でのHIV陽性者受け入れと組織改善に向けて

山内 哲也 (社会福祉法人武蔵野会八王子生活実習所)

KS5-4 精神障害者支援を通じた予防とケアに向けた取り組み

脊戸 京子 (地域生活支援センター「あん」)

コメンテーター

田中 千枝子 (日本福祉大学)

(共催：厚生労働省科学研究費補助金エイズ対策研究事業)

共催シンポジウム

共催シンポジウム6

座長

第1部 (インタラクティブ・セッション)
青木 眞 (サクラ精機株式会社)
第2部 (教育レクチャー)
山元 泰之 (東京医科大学 臨床検査医学講座)

■日時：12月1日(木) 9:30-11:30

■会場：クリスタルルーム (第3会場)

教育セミナー「症例から学ぶ HIV 感染症診療のコツ」

KS6-1 Ann Khalsa, M.D. (McDowell 〈HIV/AIDS〉 Healthcare Center)

コメンテーター

山元 泰之 (東京医科大学 臨床検査医学講座)
日笠 聡 (兵庫医科大学 血液内科)
中村 朗 (旭中央病院 内科)
柳澤 如樹 (がん・感染症センター都立駒込病院 感染症科)

(共催：ヴィーブヘルスケア株式会社)
(企画・協力：HIV Care Management Initiative-Japan)

共催シンポジウム7

座長

高折 晃史 (京都大学医学研究科)
松下 修三 (熊本大学エイズ学研究センター)

■日時：12月1日(木) 10:15-11:45

■会場：平安 (第4会場)

「『宿主因子』基礎研究の臨床的意義」

KS7-1 宿主因子としての脂質代謝
南 留美 (国立病院機構 九州医療センター免疫感染症内科)

KS7-2 宿主遺伝的多型と HIV 感染症
中山 英美 (大阪大学微生物病研究所ウイルス感染制御分野)

KS7-3 HIV-1Vif と宿主因子をめぐる最近の話題
新堂 啓祐 (京都大学血液・腫瘍内科学)

KS7-4 TRIM5 遺伝子型と HIV-1 感染サルモデルの開発
河野 健 (大阪大学微生物病研究所ウイルス感染制御分野)

(共催：アボットジャパン株式会社)

共催シンポジウム

共催シンポジウム8

座長 味澤 篤 (がん・感染症センター都立駒込病院 感染症科)
日笠 聡 (兵庫医科大学 血液内科)

■日時：12月1日(木) 14:30-15:45

■会場：クリスタルルーム (第3会場)

「キードラッグの選択をどのようにすべきか：
治療経験の多い施設の現状と各キードラッグの特徴」

- KS8-1 横幕 能行 (国立病院機構名古屋医療センター エイズ治療開発センター)
- KS8-2 今村 顕史 (がん・感染症センター都立駒込病院 感染症科)
- KS8-3 照屋 勝治 (国立国際医療研究センター エイズ治療・研究開発センター)
- KS8-4 白阪 琢磨 (大阪医療センター HIV/AIDS 先端医療開発センター)

(共催：MSD 株式会社)

共催シンポジウム9

座長 池上 千寿子 (特定非営利活動法人ふれいす東京)
樽井 正義 (慶応義塾大学)
平賀 紀行 (厚生労働省健康局疾病対策課)

■日時：12月1日(木) 14:30-17:00

■会場：白鳳 (第5会場)

「エイズ予防のための戦略研究 - その取り組みと成果」

- KS9-1 エイズ予防のための戦略研究 その目標と取り組み
木村 哲 (東京通信病院/エイズ予防財団)
- KS9-2 エイズ予防のための戦略研究 研究実施の概要
岡 慎一 (国立国際医療研究センターエイズ治療・研究開発センター)
- KS9-3 首都圏居住の男性同性愛者を対象とした地域介入研究
生島 嗣 (特定非営利活動法人ふれいす東京/MSM 首都圏グループ)
- KS9-4 阪神圏居住の男性同性愛者を対象とした地域介入研究
鬼塚 哲郎 (京都産業大学文化学部)
- KS9-5 エイズ予防のための戦略研究 研究から得られた成果
市川 誠一 (名古屋市立大学看護学部)

(共催：厚生労働省科学研究費補助金エイズ対策研究事業)

共催シンポジウム

共催シンポジウム10

司会 青木 眞 (サクラ精機株式会社)

■日時：12月1日(木) 15:45-17:00

■会場：クリスタルルーム (第3会場)

「HIV 診療医教育企画『困難症例に対するアプローチ』
～総合内科的視点強化にむけて～」

KS10-1 村松 崇 (東京医科大学病院 臨床検査医学科)

KS10-2 相野田 祐介 (東京女子医科大学病院 感染症科)

KS10-3 西島 健 (国立国際医療研究センター エイズ治療・研究開発センター)

(共催：MSD 株式会社)

共催シンポジウム11

司会 白阪 琢磨 (国立病院機構大阪医療センター
HIV/AIDS先端医療開発センター)

■日時：12月2日(金) 9:00-10:30

■会場：センチュリールーム B (第1会場)

「今の医療に新たに求められているもの 第2回
～自業自得・バチを巡って、スピリチュアル・ケアを考える～」

KS11-1 教育実践の立場から
榎本 てる子 (関西学院大学)

KS11-2 実践の立場から
枝木 美香 (特定非営利活動法人アークス仏教国際協力ネットワーク)

KS11-3 キリスト教の立場から
中道 基夫 (関西学院大学)

KS11-4 仏教の立場から
飯島 恵道 (曹洞宗薬王院 東昌寺)

KS11-5 医療の立場から
白阪 琢磨 (国立病院機構大阪医療センター HIV/AIDS 先端医療開発センター)

(共催：厚生労働省科学研究費補助金エイズ対策研究事業)

共催シンポジウム

共催シンポジウム12

座長 今村 顕史 (がん・感染症センター都立駒込病院
感染症科)

■日時：12月2日(金) 10:15-11:45

■会場：飛鳥(第6会場)

「時代が求めるセルフ・マネジメント再考 ～医学的治療という側面から～」

KS12-1 大野 稔子(北海道大学病院 看護部)

KS12-2 加藤 哲朗(東京慈恵会医科大学 感染制御部)

KS12-3 佐藤 知恵(東京医科大学病院 臨床検査医学科)

KS12-4 戸蒔 祐子(慶応義塾大学病院 感染症クリニック)

(共催：セルフ・マネジメント研究会／ヴィーブヘルスケア株式会社)

ランチョンセミナー

ランチョンセミナー1

座長 岡 慎一 (国立国際医療研究センター
エイズ治療・研究開発センター)

■日時：11月30日(水) 12:00-13:00

■会場：クリスタルルーム (第3会場)

「長期合併症予防を見据えた薬剤選択」

LS1-1 長期合併症予防を見据えたアイセントレスの使い方
立川 夏夫 (横浜市立市民病院 感染症内科)

LS1-2 The choice of ART, considering long-term complication
Dr. Andrew Carr (Associate Professor of Medicine, University of New South
Wales, Sydney, Australia)

(共催：MSD 株式会社)

ランチョンセミナー2

座長 岩本 愛吉 (東京大学医科学研究所)

■日時：11月30日(水) 11:50-13:00

■会場：平安 (第4会場)

「Tenofovir を含む長期抗 HIV 療法と腎臓及び骨
～海外の報告、日本人における検証と今後の課題」

LS2-1 日本人の腎機能に及ぼす影響
白阪 琢磨 (国立病院機構大阪医療センター HIV/AIDS 先端医療開発センター)

LS2-2 骨代謝に関する情報整理と検証
山元 泰之 (東京医科大学 臨床検査医学科)

(共催：鳥居薬品株式会社)

ランチョンセミナー

ランチョンセミナー3

座長 安岡 彰（長崎大学感染制御教育センター）

■日時：11月30日（水）12：00-13：00

■会場：白鳳（第5会場）

「真菌感染症を中心とした日和見感染症」

LS3-1 HIV 領域で問題になる真菌感染症

照屋 勝治（国立国際医療研究センター エイズ治療・研究開発センター）

（共催：ヤンセンファーマ株式会社）

ランチョンセミナー4

座長 福武 勝幸（東京医科大学 臨床検査医学講座）

■日時：11月30日（水）12：00-13：00

■会場：飛鳥（6会場）

「HIV 診療とウイルス検査の重要性」

LS4-1 新たな HIV-1RNA 検査キットの基礎的臨床評価

土屋 亮人（国立国際医療研究センター エイズ治療・研究開発センター）

LS4-2 診断のタイミングと HIV 診療

瀧永 博之（国立国際医療研究センター エイズ治療・研究開発センター）

（共催：株式会社ロシュ・ダイアグノスティックス）

ランチョンセミナー

ランチョンセミナー5

座長 味澤 篤 (がん・感染症センター都立駒込病院
感染症科)

■日時：12月1日(木) 12:00-13:00

■会場：クリスタルルーム (第3会場)

「抗 HIV 療法のガイドラインを斬る (backbone 編)」

LS5-1 瀧永 博之 (国立国際医療研究センター エイズ治療・研究開発センター)

LS5-2 日笠 聡 (兵庫医科大学 血液内科)

LS5-3 山元 泰之 (東京医科大学 臨床検査医学講座)

(共催：ヴィーブヘルスケア株式会社)

(企画・協力：HIV Care Management Initiative-Japan)

ランチョンセミナー6

座長 高折 晃史 (京都大学医学研究科)
松下 修三 (熊本大学エイズ学研究センター)

■日時：12月1日(木) 12:00-13:00

■会場：平安 (第4会場)

「『宿主因子』基礎研究の臨床的意義」(共催セミナーからの継続)

LS6-1 宿主因子研究の現状：細胞内宿主因子とウイルス蛋白との攻防

高折 晃史 (京都大学医学研究科)

LS6-2 宿主因子研究の未来

松下 修三 (熊本大学エイズ学研究センター)

(共催：アボットジャパン株式会社)

ランチョンセミナー

ランチョンセミナー7

座長 岩本 愛吉 (東京大学医科学研究所)

■日時：12月1日(木) 12:00-13:00

■会場：白鳳(第5会場)

「HIV 感染症と血液悪性腫瘍」

LS7-1 HIV 感染症と血液悪性腫瘍

岡田 誠治 (熊本大学エイズ学研究センター・予防開発分野)

(共催：ブリストル・マイヤーズ株式会社)

ランチョンセミナー8

座長 岡 慎一 (国立国際医療研究センター
エイズ治療・研究開発センター)

■日時：12月1日(木) 12:00-13:00

■会場：飛鳥(第6会場)

「HIV 患者における呼吸器感染症マネジメント」

LS8-1 HIV 患者における呼吸器感染症マネジメント ACC での外来・入院肺炎における経
験例から、細菌、真菌性感染症治療について概説

照屋 勝治 (国立国際医療研究センター エイズ治療・研究開発センター)

(共催：ファイザー株式会社)

ランチョンセミナー

ランチョンセミナー9

座長

満屋 裕明 (熊本大学大学院生命科学研究部 血液内科・膠原病内科・感染免疫診療部)
岡 慎一 (国立国際医療研究センター エイズ治療・研究開発センター)

■日時：12月2日(金) 12:00-13:00

■会場：クリスタルルーム (第3会場)

「長期治療のマネジメントを考えた ARV の選択～臨床医の経験に学ぶ～」

- LS9-1 上平 朝子 (国立病院機構大阪医療センター感染症内科)
- LS9-2 菅沼 明彦 (がん・感染症センター都立駒込病院感染症科)
- LS9-3 塚田 訓久 (国立国際医療研究センター エイズ治療・研究開発センター)
- LS9-4 横幕 能行 (国立病院機構名古屋医療センターエイズ治療開発センター)

(共催：ヤンセンファーマ株式会社)

ランチョンセミナー10

座長

杉浦 亙 (国立病院機構名古屋医療センター臨床研究センター)

■日時：12月2日(金) 12:00-13:00

■会場：平安 (第4会場)

「マラビロク、どう使う？」

- LS10-1 松下 修三 (熊本大学エイズ学研究センター)

(共催：ヴィーブヘルスケア株式会社)

ランチョンセミナー

ランチョンセミナー11

座長 神谷 茂 (杏林大学医学部感染症学)

■日時：12月2日(金) 12:00-13:00

■会場：白鳳(第5会場)

「感染症と東洋医学」

LS11-1 感染症と東洋医学

高橋 秀実 (日本医科大学 微生物学免疫学教室/日本医科大学附属病院
東洋医学科)

(共催：株式会社ツムラ)

ランチョンセミナー12

座長 今村 顕史 (がん・感染症センター都立駒込病院
感染症科)

■日時：12月2日(金) 12:00 - 13:00

■会場：飛鳥(第6会場)

「時代が求めるセルフ・マネジメント再考 ～患者さんの社会生活という側面から～」

LS12-1 生島 嗣 (特定非営利活動法人 ふれいす東京)

LS12-2 岡本 学 (国立病院機構大阪医療センター 医療相談室)

LS12-3 小島 賢一 (荻窪病院 血液内科)

LS12-4 下司 有加 (国立病院機構大阪医療センター HIV・AIDS 先端医療研究センター)

LS12-5 高久 陽介 (特定非営利活動法人日本 HIV 陽性者ネットワーク・ジャンププラス)

(共催：セルフ・マネジメント研究会/ヴィーブヘルスケア株式会社)

イブニングセミナー

イブニングセミナー1

座長 木村 哲 (東京逋信病院)
満屋 裕明 (熊本大学大学院生命科学研究部 血液
内科・膠原病内科・感染免疫診療部)

■日時：11月30日(水) 17:25-19:25

■会場：センチュリールーム (第1会場)

「HIV 感染症『治療の手引き』第15版」

ES1-1 HIV 感染症治療の手引き第15版 解説

木村 哲 (東京逋信病院)

ES1-2 HPTN052 の意義

白阪 琢磨 (国立病院機構大阪医療センター HIV/AIDS 先端医療研究センター)

ES1-3 治療開始早期化の流れ

安岡 彰 (長崎大学病院)

ES1-4 安全性スタディ最終報告

中村 朋文 (熊本大学大学院生命科学研究部 血液内科・膠原病内科・
感染免疫診療部)

ES1-5 上手な慢性期管理：欧州での取り組みと日本の現状・課題

横幕 能行 (国立病院機構名古屋医療センター エイズ診療科)

(共催：HIV 感染症治療研究会／ヴィーブヘルスケア株式会社)

イブニングセミナー

イブニングセミナー2

座長

俣野 哲朗 (国立感染症研究所 エイズ研究センター)
神奈木 真理 (東京医科歯科大学大学院 医歯学総合
研究科 免疫治療学分野)

■日時：11月30日(水) 17:25-19:25

■会場：桃山(第2会場)

「慢性感染症としての HIV 感染症の免疫学」

ES2-1 結核の感染免疫学

吉開 泰信 (九州大学生体防御医学研究所附属感染防御研究センター)

ES2-2 自然免疫による HIV 抵抗性

神奈木 真理 (東京医科歯科大学 大学院医歯学総合研究科 免疫治療学分野)

ES2-3 母乳による HIV 伝播に関する免疫学

高橋 秀実 (日本医科大学 微生物学免疫学教室)

ES2-4 HIV 感染症における CTL 反応

立川 (川名) 愛 (東京大学医科学研究所 先端医療研究センター感染症分野 /
IrsiCaixa Insutitute for AIDS Research, Hospital Germans
Trias i Pujol, Barcelona, SPAIN)

ES2-5 HIV 感染症における HTL 反応

山本 拓也 (Vaccine Research Center (VRC) / NIAID / NIH Immunolgy
Laboratory)

(共催：MSD 株式会社)

■日時：11月30日(水) 17:25-19:25

■会場：白鳳(第5会場)

「HIV感染症と2つの検査戦略 - 早期診断のためのHIV
スクリーニング検査と適切な治療のための薬剤耐性検査 -」

ES3-1 HIV感染者の早期診断とHIV検査の諸問題

(適切な検査機会の提供からスクリーニング検査と確認検査の注意点)

福武 勝幸 (東京医科大学臨床検査医学講座)

ES3-2 HIV薬剤耐性検査と耐性HIVの現状

杉浦 互 (国立病院機構名古屋医療センター エイズ研究開発センター)

(共催：アボットジャパン株式会社)

平成23年度HIV感染症専門・薬剤師講習会

平成23年度HIV感染症
専門・薬剤師講習会

座長 千田 昌之 (国立国際医療研究センター 薬剤部)
栗原 健 (国立病院機構南京都病院 薬剤科)

■日時：11月30日(水) 17:25-19:25

■会場：飛鳥(第6会場)

- 1 HIV感染症専門・認定薬剤師に必要な知識 - 針刺事故予防内服・日和見感染症
スピード解説・現場で患者さんと接するポイント・検査の話題
今村 顕史 (がん・感染症センター都立駒込病院 感染症科)
- 2 HIV感染症専門・認定薬剤師に必要な社会保障制度
伊賀 陽子 (兵庫医科大学病院 医療社会福祉部)
- 3 東日本大震災がHIV感染症治療に及ぼした影響
佐藤 麻希 (国立病院機構仙台医療センター 薬剤科)
- 4 HIV感染症専門・認定薬剤師の取得方法と更新要件
栗原 健 (国立病院機構南京都病院 薬剤科)

* 本講習会は薬剤師以外の方でも聴講可能です。

* 日本病院薬剤師会の認定講習会受講単位(1単位)が付与されます。

(共催：日本病院薬剤師会)